

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点目標	年目	中期経営目標	重点	分類	短期経営目標	(中間)評価	評価項目・指標等 (△成果 ▽取組み ◇成果と取組み に着目)	(中間)指標評価	□ 評価項目・指標等 ○ 短期(中期)経営目標の達成状況 ◎ 改善方策
確かな学力	2	基礎・基本の定着と学ぶ意欲の育成	★	見直し	わかる授業の創造	B	△生徒アンケートの「授業がわかりやすい」項目の肯定的評価を全授業で90%以上にする。 △「基礎・基本」定着状況調査の通過率30%未満の生徒の割合を県平均以下にする。	c	□○10月24日実施の生徒アンケートから「授業がわかりやすい」の肯定的評価が90%以上の教科は、20/27教科である。 ◎授業の相互参観等によりさらに授業改善を行う。 □今年度の調査の結果、30%未満の生徒の割合は県平均に比して2.0~2.7ポイント少ない。 ◎継続できるよう、さらに授業改善に取り組む。
				継続	自主的に取り組む生徒の育成	A	△家庭学習を1時間以上する生徒を70%以上にする。	a	
	2	個性の伸長を図る	★	見直し	各種検定への積極的な挑戦	B	△英検など各種検定有資格者を230名以上にする。	b	□○生徒アンケートによると10月24日までに有資格者は、196人である。 ◎英検を10月15日に自校で実施。漢検を11月5日に実施。さらに数検を11月19日に実施する。
豊かな心	3	自主・自立を育てる積極的生徒指導	★	新規	暴力行為発生率の減少	A	△暴力行為発生率を県平均以内にする。(9件以内)	a	□○平成22年度県調査の結果では、城北中規模で11.5件が平均となるが、現在までに暴力行為の発生件数は4件である。 □○10月13日現在、30日以上欠席の生徒は21人であり、出現率が2.8%となっている。 ◎15日以上欠席も7人(0.7%)おり、さらに学年でチームを組んで面談や家庭訪問に当たることを継続する。
				見直し	長期欠席の未然防止	B	△30日以上欠席者の出現率を3.5%以内にする。	b	
			新規	精勤賞の奨励	A	△無遅刻・無欠席を奨励し、無遅刻・無欠席(精勤賞)の生徒を35%以上にする。	a		
健やかな体	3	体力向上を図る教育活動		新規	自ら進んで体力向上に取り組む生徒の育成	B	△新体力テスト全国平均以上の項目を60%以上(全48項目)にする。	a	□6月に実施した体力テストの結果、全国平均以上は31項目あり、64.5%となっている。 ○運動部活動も積極的に行っており、県大会へ100人以上の選手が参加している。運動部活動の活発化も体力向上に効果が大きいと考えられる。 ◎継続して体力を高める運動に取り組む。 □○体力向上推進期間の取組みについては計画まではしたものの実施できていない。 ◎今後、12月、2月に実施する。
							▽体力向上推進期間を年に2回実施する。	d	
力量ある教職員	1	新学習指導要領に対応した授業づくり	★	新規	キャリア教育の研究	C	▽キャリアノートの実施をはじめとする3年間を見通したキャリア教育計画の立案をする。	c	□○10月までに担当者会を実施し準備を進めてきた。 ◎キャリア教育計画を11月より本格的に文書化し1月末に完成させる □○10月までに校内授業研究週間・道徳授業研究・校内教科授業研究を行った。 ◎11月に校内授業研究週間を実施し、さらに3学期には公開研究会を実施する予定である。 □○1学期末試験の結果から、教科の平均では23/27教科で無解答率20%以下を達成している。 ◎2学期末・学年末においても取組みを進め、授業においては「じっくり考える」時間を設定する。
				見直し	校内研修の計画的な実施と内容の充実	B	▽校内授業研究を年間3回以上実施する。 ◇定期テストで説明解答を求め問題2問の無解答率を20%以下にする。	a b	

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

	2	勤務規律の確保	継続	教職員の不祥事0	A	▽不祥事防止委員会の定期的な開催とともに毎月、研修を実施する。	a	□10月末までの毎月、不祥事防止委員会の開催とともに研修を実施した。 ○4月から現在まで教職員の不祥事は0である。 ◎今後も3月まで継続して取り組む。
小学校 市民から信頼	3	地域の学校としての役割の推進	★ 新規	小学校との連携を含めた教育研究の推進	B	▽校区内の小学校と管理職・教務・生徒指導における連携の場をそれぞれ3回以上もつ。	b	□○10月までに教頭・教務主任・生徒指導主事の連携会議を各2回実施した。7つの約束に係る学校スタンダードを完成させる予定である。 ◎年度末までには各3回以上の実施が見込まれる。
			継続	地域社会における自校の使命の遂行	B	▽学校・学年通信を毎月1回以上発行し、ホームページへ掲載する。 △保護者アンケート「城北へ行かせてよかった」の項目の肯定的評価を90%以上にする。	a	□10月まで学校・学年通信を毎月1回以上発行し、ホームページも3回程度更新している。 ◎継続して実施する。
							—	○12月の保護者アンケートで検証する。保護者・地域住民からの声はいかなる内容であっても丁寧に対応する。